

コメントへの回答

<p>もう少し問題を解く機会が欲しかった</p>	<p>講義中に入れるのは時間的に難しいので、宿題を出せば良かったのかなと考えています。ただし、本末転倒なのですが、雑事で採点等に時間を割けなかったので出すことが出来ませんでした。せめて推奨問題を前の章でも示せば良かったのかと思います（解答は図書館にある解答集を見てください）。</p>
<p>生成物が与えられていて、原料を導く問題の考え方は？</p>	<p>原料から生成物を考えるより難しいですね。実際の研究、特に薬剤の開発などでは、ターゲットがあつて、それに向けて合成法を構築していきます。逆合成で検索してみてください（少しレベルが高い話になりますが）。以下は分かりやすいと思います。 www.org-chem.org/10strategy.pdf</p>
<p>少し有機化学が分かるようになってきた／暗記していた状態から反応機構を意識して考えられるようになった</p>	<p>よかったです。暗記しようとするとは面白くない学問ですが、考えられるようになると面白いと思いますよ。 有機化学に限らず、全ての自然科学は実際に起きている現象がなぜ起きるかを理解することが大きな目的です。従って、全ての現象には、その現象が起きる理由があります。その理由が簡単ではないことは良くあるのですが。</p>
<p>有機化学が全く分からない</p>	<p>こういうことを言つてはまずいのかも知れませんが、他に分かっている科目があれば良いと思います。人間誰もが得意不得意があるので。ただ、違う分野に進んでも意外と将来業務上で必要になったりすることがあります。例えば、合成化学の人が、会社に行ってから化学工学や物理化学を勉強し直すなんて言うことは良く聞きます。自分の実際の業務や必要性が関わると、意外と何とかなるものです。</p>
<p>電子の動きがよく分からなかった</p>	<p>一度紙を原子、爪楊枝などを結合にして実際に動かしてみると分かるかも。</p>
<p>前半はもう少し速くて良いので、アミンをしつかり講義して欲しかった</p>	<p>多分前半を早くすると、かなり付いていけない人が増えてしまいます。と言って、アミンの講義を不十分な形にして良い訳ではないのですが。プリントは丁寧に作ったつもりですので、これで勘弁して頂けると有り難いです。</p>
<p>各反応で出てきた生成物がどう使われているかなどが紹介されるとわかりやすいと思う</p>	<p>本当は実験室で見るとかなり記憶に残るんですが。酸塩化物なんて見た瞬間に「ああ、これは危ないな」って感じがします（においもですが）。使う化合物を体験する機会があると良いなと考えていますが、うまい方法が中々思いつきません。</p>
<p>穴埋め問題より、考えるタイプの問題を増やして欲しい／増やすべき</p>	<p>講義の趣旨としてはご指摘の通りなのですが、受講生の総合的な理解度を考えると難しい所です。いっその事試験を持ち込み可にして、考える問題を増やすことも考えたのですが、そうなるとうかなり厳しい成績になりそうな感触があります（暗記している組は壊滅状態になるので・・・）。</p>
<p>範囲が広すぎる</p>	<p>確かにそうだと思います。本当は有機化学があと1科目あつて、さらにペリ環状反応とかをカバーするくらいだと良いのだと思います。</p>
<p>教科書に書いてあるこ</p>	<p>学年が上がってきての講義は理解度に差があります。有機化学</p>

<p>とは読めば分かるから、もっと発展的な内容を教えて欲しかった</p>	<p>III という有機化学の基礎を学ぶ講義ですので、理解度はやや低い側に合わせざるを得ないと考えています。演習や有機合成化学などの講義は発展的な内容を行うべきだと思いますが。期待に応えられず申し訳ありません。</p> <p>とは言え、理解度が高い人が飽きない内容も必要ですね。来年度に向けて考えてみます。</p>
<p>テストに出そうな所を授業中に強調して欲しい</p>	<p>授業の時はテストのこと考えていません。また、試験で点を取ってもらうために講義している訳ではないので、そういう対応は取れません。ただし、3つ前のコメントへの回答とこの回答にやや矛盾はあるかなと思います。</p>
<p>最後のミニッツペーパーの分講義をして、余裕を持って進めた方が良かったのでは？／ 速くて付いていけないことがあった／板書が見にくいことがあった／速すぎた</p>	<p>このあたりのバランスと取れておらず、駆け足になり申し訳ありません。補助のプリントを活用するなどして、うまく板書や説明の時間を短縮する方がよいのかと考えていますが、手を出せませんでした。</p>
<p>暗記で何とかならないのはつらい</p>	<p>各章最後の反応のまとめを暗記すれば、ほとんど対応は出来たと思います。ただあまり推奨は出来ませんが・・・</p>
<p>Hell-Vorhard-Zelinski 反応と Stork エナミン反応がよく分からない</p>	<p>Stork エナミン反応はもし動画を見ていなかったら見てみて下さい。さらに詳しい説明は少し考え直します。</p> <p>HVZ 反応は、<math>\alpha</math> 臭素化と同時に、カルボン酸の酸臭化物への変換が起きています。従って、それぞれの反応と生成物の反応性を理解する必要が有ります。<math>\alpha</math> 臭素化で生じた臭化アルキル基は、それほど分極していないので、単に水を加えるくらいでは分解せずに残ります。一方、酸臭化物は、臭素原子とカルボニルの双方が電子を引き合うので、反応性が高い構造です（つまり、カルボニル炭素-臭素間の結合電子を、両者が綱引きしている状態なので切れやすい）。従って、水のような弱い求核剤によっても容易に切断され、カルボン酸に変換されます。</p>